



大規模災害訓練を実施しました!

平成28年12月3日(土)8回目となる大規模災害訓練を実施しました。今回は、午前8時30分過ぎ、震源地が和歌山沖・深度30Kmで近畿地方を中心に震度6強の大地震が発生、また、午前10時には2回目とする同規模程度の地震が発生した事を想定し、少人数での本部立ち上げから本部対応職員の訓練を主とした、災害時に迅速かつ的確に対応できる体制の整備と組織力の強化を図るため、訓練を通して検証を行ないました。

対策本部では、病院全体の被災状況を確認・把握し、災害による多数の傷病者の診療など行ないました。総勢259名(院外協力21名を含む)の方に参加いただき、総合的な訓練となりました。

災害対策本部

休日設定という事で少人数での本部立ち上げを行ない、応援職員出勤後は本部長を当直医師から院長へと引き継ぐ訓練を行ないました。毎年訓練を重ねていく中で本部機能訓練は、形になってきていると評価を受けました。



トリアージ部門

部門立ち上げ時に、患者さんの動線を考えてから配置する事やホワイトボードの活用や、また、部門リーダーのきっちりとした指示の必要性などに課題をいただきました。



軽症・中等症・重症・死亡管理部門

受け入れ部門毎に傷病者の治療に取り組みました。併せて、再トリアージの重要性や必要物品についても意見をいただきました。



ご意見への回答

Q いつも温かく心の中もった美味しいお食事をありがとうございます。器も可愛い柄で、毎食とてもお腹をすかせて待ちわびています。また、期待通りの味付け、ボリュームすごく美味しいです。ですが、あとメニューを病棟ごとに掲示していただけたら、食事の時間まで、期待感・ドキドキ感・ワクワク感が出ると思います。どうぞ、前向きにご考慮ください。

A この度はお褒めの言葉を賜りありがとうございます。メニューの掲示につきましては、現在病院の食事は260種類以上あり、残念ながらその全種類の献立を各病棟に毎週掲示することは大変難しいため実施しておりません。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

Q 4階北病棟の皆さん、本当にありがとうございました。手術後辛く・痛く眠れない日々が続く毎日、嫌な顔一つ見せないで、優しい言葉をかけてくださり、色々とお世話をかけ、本当にありがとうございました。感謝しています。手術して下さった先生、ICU・リハビリでお世話になった皆様、本当にありがとうございました。

A この度はお褒めの言葉を賜りありがとうございます。今後も患者さんに対して、「心温かな信頼される医療」を提供し、満足いただけるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

第14回 市立豊中病院がん医療市民公開講座

がん医療の最前線～がんを治すロボットのと薬の力～

平成28年11月12日(土) 阪急曽根駅前アキア文化ホールにおいて、シリーズ第14回目の「がん医療市民公開講座」を開催いたしました。

今回は、当院でも導入した「手術支援ロボット・ダヴィンチ」を活用した前立腺がんの治療や、血液がんと薬による治療について、2講演をお届けしました。

基本理念
豊中市の地域中核病院として「心温かな信頼される医療」を提供します。

基本方針

- 1 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざします。
- 2 地域の中核病院として安全で質の高い医療を提供します。
- 3 医療機関との連携を密にし、市民の健康を守るために努力します。
- 4 少子高齢化社会に対応する医療を推進します。
- 5 病院職員の教育・研修の充実を図ります。

第14回

がん医療市民公開講座

「がん医療の最前線 がんを治すロボットのと薬の力」

Topics

第一講 「前立腺がん治療：手術支援ロボット・ダヴィンチXi導入でどう変わるのか？」

市立豊中病院 泌尿器科部長 三宅修 医師

前立腺がんとは、尿道を取り囲むクルミ大臓器の前立腺に発生するがんであり、主に辺縁域に発生し、がん早期は無症状なことが多いのですが、進行するにつれ残尿感や頻尿などの排尿症状が出てきます。より進行が進んで、骨に転移すると腰や背中に痛みが出るようになります。

前立腺がんの患者数は年々増加しており、男性のがんでは、平成27年に胃がんを抜いて第1位となっています。前立腺がんの95%は60歳以上で、高齢者ほど発生しやすいがんです。その一方、死亡率は低く、前立腺がんは様々な薬や手術手技の向上により治癒率の高いがんといえます。また、PSA検査(※下記『豆知識』参照)により、症状の出にくい前立腺がんを早期に発見することが出来るようになりました。



+ 豆知識 PSA 検査

PSA検査は、前立腺から分泌される血液中のPSA(前立腺特異抗原)というタンパク質の濃度値を調べるものです。PSAの基準値について、4.0という数値をよくきかれるかと思いますが、正常上限値は50~64歳は3.0、65~69歳は3.5、70歳以上は4.0と異なります。またPSA値が20以上の場合、がんが見つかる確率は80%以上となります。検診の間隔は、PSA値が0~1.0だと3年毎、1.1~基準値上限(3.0~4.0)だと毎年、が推奨されています。豊中市でも平成23年4月から、50歳以上の男性を対象に市の検診として、PSA検査を用いた前立腺がん検診を低額で受けられるようになりました。お近くの泌尿器科専門医やかかりつけ医で検査を受けることができます。

【参考】豊中市ホームページ おとなの健診・がん検診 受けよう健診、守ろう健康
http://www.city.toyonaka.osaka.jp/kenko/kenko_hokeneisei/kenshin/kenshin_top.html